

中部産業連盟主催

OKB 総研扱い

第五回 安全指導コンサルティング報告



実施日 ; 2023年11月20日(月曜日)

指導員 ; 中部産業連盟/鈴木講師

参加者 ; 本社工場従業員、飛島工場従業員ほか社員全員参加

1) マネジメント層との打ち合わせ

- ① 現在進めている安全活動の内容(事故報告書・設備不良報告書)について、鈴木講師の指導と対策書について講評を受ける。

→安全責任者からのコメントを記載するようにする。

- ② ヒヤリハットの一覧を確認してもらい、その対応策について指導講評を受ける。

→ヒヤリハットは、日々の活動の蓄積となり、データ蓄積を引き続き進めて、安全対策を都度講じることで事故の防止と従業員の安全に対する意識付けを促進させる。

→ヒヤリハット活動を進めることで、次の展開(TKY活動の拡充)を定期的実施するようにする。

- ③ リスクアセスメントシートの確認

→洗い出した高リスクポイントの改善部分を、午後の飛島工場にて改善を実施した担当者にみんなの前で説明してもらう。

- ④ 直近の他社の安全対策についてご教示いただく

2) 飛島工場での安全指導

- ① 寺野社長からの挨拶

5回目となる今回の安全指導で一区切りがつく。1回目、2回目から比べると従業員の「安全」に対する意識が上がってきた。

安全活動の一つひとつの積み重ねによって、安全を確保し、従業員の働きやすい環境を提供することができる。

そのため、自分がよければ、自分が安全ならばよいという考えではなく、誰かが危険な状態で不安定行動をしているのを見かけたら「しっかりと注意をする」。ワンチームがメイホウであり、チームとして安全活動をしていることを務めて行ってほしい。

仕事上、危ない作業があるのはどの業界も同じ。だからこそ、危険の芽を摘んでいくことが大事になってくる。引き続き、安全第一で作業を遂行してほしい。

- ② リスクアセスメントシートに則った各担当者による報告

(坂本工場長と各従業員で話を進めてもらう)

危険箇所(作業)と作業現場の状況、改善前のリスク評価、対策実施内容(実施済み)、改善に必要な用具や費用等、改善後のリスク評価、対策日の発表



坂本工場長によるリスクアセスメントシートのまとめ発表と各担当者の発表

- ③ 発表したリスク箇所の改善内容を飛島工場内で発表
各配置の担当者がリスクアセスメントシートに則った改善箇所の発表を行った。



(現場の改善点を各担当者が報告)



(黄色;注意・赤色;手を入れてはいけない)